

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

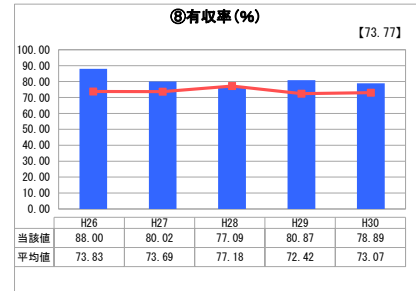
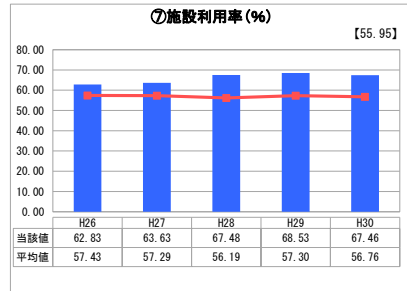
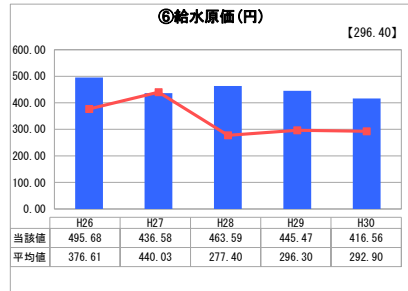
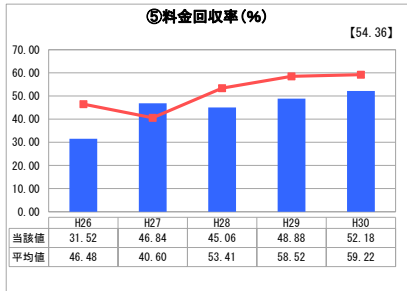
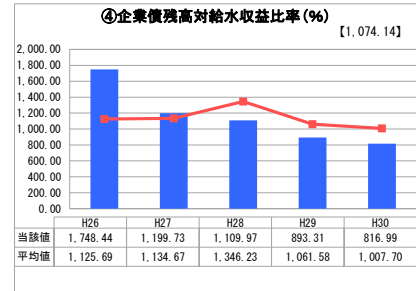
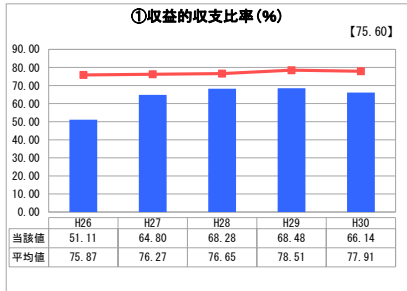
熊本県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり客産料金(円)	
-	該当数値なし	47.99	3,888	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,111	144.00	70.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,813	40.10	120.02

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

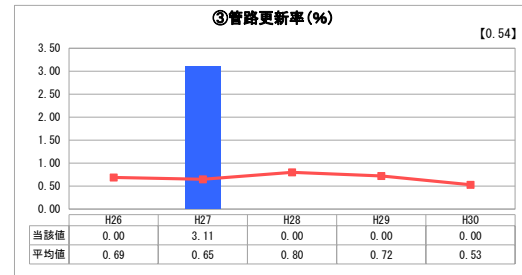
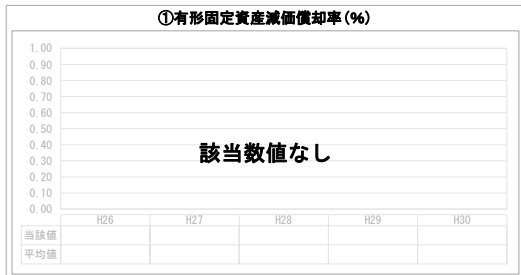
### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率については、66.14%と類似団体や全国平均値よりも低い値となっているが、給水区域内の人口減少による料金収入の減少や各地の施設に係る維持管理費の増加により、給水収益だけでは賅えず、一般会計からの繰入金により不足額を補っている状況である。  
 ②該当数値なし。  
 ③該当数値なし。  
 ④施設等の更新において企業債を発行する場合は、優先度の高いものから計画的に進め、収支のバランスを考慮し借入を行う。  
 ⑤料金回収率については、徐々に回復しつつあるものの全国平均値に比べ低い値であり、今後も料金回収や経費削減に努めていく。  
 ⑥給水原価については徐々に減少しているが依然として類似団体と比べ高い数値であり、より一層の経費削減を図る。  
 ⑦施設利用率については平均より高い水準となっているが、給水人口の減少等を考慮し、必要に応じ施設の見直しやダウンサイジングなどを視野に入れながら、適切な施設規模での経営を行う。  
 ⑧有収率については、老朽管による漏水等により70%~80%の値である。老朽化した施設・配管等を更新していくことで有収率の向上を図る。

### 2. 老朽化の状況について

①該当数値なし。  
 ②該当数値なし。  
 ③浄水場、配水池などの施設や水道管ともに年々老朽化が進み、大幅な改修の必要性や漏水による修繕が増加している状況にある。施設・設備については計画的・効率的な更新を実施していく必要がある。また老朽管については管路更新整備計画を策定し、効率的な布設替えを行い安定的な給水確保を図る。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

給水人口は今後も減少が予測されるため、料金収入のみでの事業経営は難しく、また施設や管路ともに老朽化が進み、大幅な改修の必要性や漏水による修繕が増加している状況にあり、今後も一般会計からの繰入金が必要な状況である。その中で、効率化によるコスト削減や適切な施設規模での経営を行い、健全かつ効率的な経営に取り組んでいく。なお、平成29年3月に美里町簡易水道事業経営戦略を策定している。